

いまい くにえ 今井 久仁恵 (1930~2011)



オペラ歌手。ソプラノ歌手。今治市出身。今治高等女学校(現、県立今治北高等学校)へ進学した後、音楽学校への進学を希望したが両親に反対される。

この頃キリスト教に改宗した兄の影響で、今治カトリック教会へ出入りするようになり、サンタマリア神父に聖歌隊に誘われ歌の才能を認められる。そして、神父の世話によりスペインへ留学し、昭和28(1953)年、スペイン国立音楽大学に入学、ローラー・アラゴン女史に師事し4年の過程を3年で修了。大学主催のコンクールで「モーツァルト賞」及び「プリメル・プレミオ賞(1等賞)」を獲得して首席で卒業し、その後、スペインの音楽家の登竜門となるコンクールで特賞「ルクレシア・アラナ賞」を獲得した。この三賞を外国人が独占したのは久仁恵が初である。

昭和32(1957)年、マドリッドでデビューして絶賛を博し、翌年、イタリアのミラノに移り、エットレ・ベルナに師事した。昭和33(1958)年11月、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場で、日本人で初めてプリマドンナとして歌劇「蝶々夫人」に出演し、一躍有名となった。以後も国内外で演奏活動を行い、特に“スペイン音楽の大使”として「日本・スペイン歌の協会」を設立してスペインの歌の普及に努めた。その功績により昭和61(1986)年、スペインから文化勲章が贈られた。

略歴

昭和5(1930)年8月24日	今治市で生まれる。
昭和23(1948)年	今治高等女学校を卒業する。
昭和28(1953)年	スペインに向け出国。スペイン国立音楽大学に入学する。
昭和31(1956)年	「モーツァルト賞」「プリメル・プレミオ賞」「ルクレシア・アラナ賞」の三賞を外国人として初めて独占して、大学を首席で卒業する。
昭和32(1957)	マドリッド・アテネオ芸術劇場でデビュー。以降、欧米各国で演奏活動を行う。
昭和33(1958)年4月 11月	イタリア・ミラノに転居。エットレ・ベルナに師事する。 ニューヨークのメトロポリタン歌劇場で、日本人で初めてのプリマドンナとして歌劇「蝶々夫人」に出演する。
昭和35(1960)年2月 6月	留学以来7年ぶりに帰国する。 ニューヨーク野外オペラの初日を飾る。
昭和50(1975)年	外務省・国際交流基金の文化使節として中米6か国を訪問する。
昭和51(1976)年	日本・スペイン歌の協会を創設する。
昭和57(1982)年	外務省・国際交流基金の文化使節として中南米5都市を訪問する。
昭和61(1986)年	スペイン国文化勲章を受章する。
昭和63(1988)年	第5回国民文化祭県実行委員会名誉顧問に就任する。
平成元(1989)年	第1回今治市功労賞を受賞する。
平成8(1996)年	県しまなみ海道'99イベント委員会名誉顧問に就任する。
平成12(2000)年	よんでん芸術文化賞を受賞する。
平成13(2001)年	愛媛県教育文化賞を受賞する。
平成23(2011)年8月4日	80歳で永眠

〈関連図書〉

- ・今井久仁恵『ある晴れた日に』 講談社 1972年
- ・『えひめ 人 その風土』 愛媛放送株式会社 1986年

〈主な収蔵資料〉…(P216~217, 92~95)

〈ゆかりのある場所〉…(P295, 126)